

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/12/11号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 一時70ドルを割り込む、需要不安を蒸し返す

NY原油先物相場は、1バレル=71ドル前半まで下落した。12月7日安値は68.80ドルとなり、6月28日以来の安値を更新している。引き続き石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産対応に不透明感があることに加えて、米中需要環境に対して慎重な見方が強まり、下値模索の展開が維持された。ただし、70ドル割れに対しては下げ過ぎとの見方が強く、週末にかけては安値修正の形で70ドル台を回復した。

12月5日に格付け会社ムーディーズは、中国の格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げた。これをきっかけに中国経済リスクが再認識されたことが、改めて原油相場を押し下げている。米原油在庫は7週間ぶりに減少に転じたが、ガソリンと石油製品の在庫増加圧力が強く、末端需要が低迷しているのではないかと懸念も上値圧迫要因になった。一方、産油国からは自主減産の履行に前向きな発言が目立ったが、マーケットの反応は限定的だった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（12月1日時点）は、原油が前週比463万バレル減、ガソリンが542万バレル増、石油精製品が127万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 下落余地限定も先高感は乏しい、安値低迷が続く

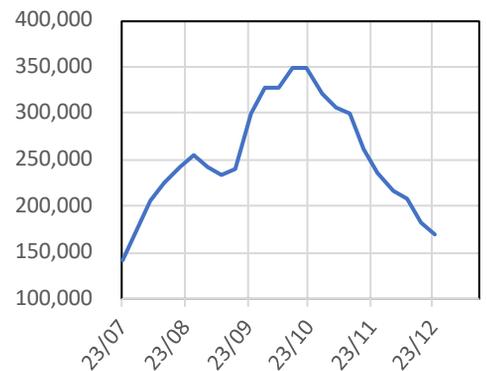
前週に一時70ドル台を割り込むなど、地合は悪い。11月30日にOPECプラス加盟国が自主減産を表明したが、マーケットでは実際に履行されるのか懐疑的な見方が崩れていない。サウジアラビアやロシアなどからは、自主減産の履行に対する強いコミットが表明されており、減産規模拡大や減産期間の延長など、更に踏み込んだ政策調整の可能性を示唆するような声も聞かれる。しかし、マーケットが実際の減産の履行状況に注目している以上、年内は供給サイドの要因で原油相場を大きく押し上げるのは難しい見通し。

一方、米中の需要不安が蒸し返されている。中国に関しては、格付け見直し引き下げが需要不安を高めるきっかけになった。ただし、最近発表された中国経済指標はいずれも底入れ感を示しており、15日に発表される11月分の経済指標も改善傾向を見せるのであれば、原油相場の70ドル割れに対しては抵抗をみせよう。米国の需要環境には不透明感が強く、原油・石油製品在庫の動向には注意が必要。製油所稼働率の上昇で原油在庫の急増が一服していることはポジティブだが、石油製品在庫の増加が続くと、原油相場の上値は圧迫されやすい。

12月12～13日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。今後の米金融政策見通しが株価やドル相場に与える影響に注意が必要。

また、南米ではベネズエラとガイアナとの間で領土紛争が深刻化している。ベネズエラはガイアナの「エセキボ」地区の領有権を主張している。ともに南米の主要産油国とあって軍事衝突などが発生すると供給不安から吹き上げる可能性がある。

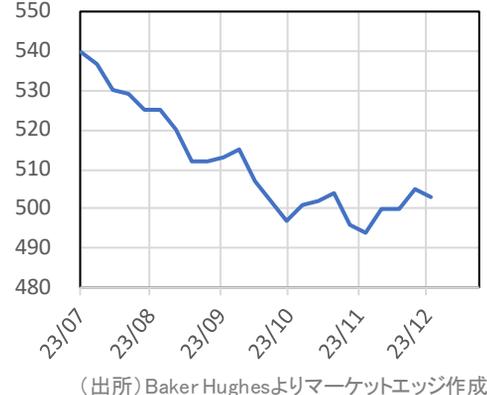
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

